

2026年5月14日

西日本新聞取材班 殿

アジア獣医師会連合（FAVA）
ワンヘルス福岡オフィス
所長 蔵内勇夫

ワンヘルスの講演料に関する取材依頼について(回答)

【質問1】講演の謝礼金として福岡県ワンヘルス総合推進課が10万円を支払っています。
金額はどちら側が決めたのでしょうか？

【回答】

県(ワンヘルス総合推進課)の方で決められ、この金額でお願いできるかと打診されました。
私は、ワンヘルスの伝道師を自認しており、ワンヘルスの理念を広める機会としてお引き受けしましたので、謝金の金額には全くこだわりはなく、快諾しました。

【質問2】県の公文書には10万円の算出根拠として、講義時間（55分）だけでなく、事前の打ち合わせ（360分）、講義資料作成（585分）の時間を記載し、3つを足した計1000分を1時間当たりの単価6000円と掛け合わせて算出していました。本当に事前の打ち合わせや資料作成にこれだけの時間を要したのでしょうか？ちなみにこれらの作業はすべて蔵内所長が1人で行ったのでしょうか？

【回答】

前問への回答のとおり、私はワンヘルスの普及・広報のために講演を引き受けましたが、講演内容は、最新の情報と、今、県が次々に取り組みられているワンヘルス実践の取組の紹介を盛り込み、受講者に分かりやすく伝えることができるものにしなければならないと考えました。そこで、ワンヘルスに関する世界の最新の知見を調べ、県の取組に関する写真、資料等の提供と説明を受け、これらを分かりやすく講演用のパワーポイントの資料と説明文にまとめるという作業が必要でした。しかし、当然、これらを多忙な私一人で行えるわけではなく、ワンヘルスの広報活動を主目的として設立されたアジア獣医師会連合（FAVA）ワンヘルス福岡オフィス(FOF)の職員の皆さんに手伝っていただきました。県との打ち合わせも、県の取組の説明の仕方を含め、正確なものとなるよう FOF 職員と県職員との間で何度も行われていましたし、随時、私も加わりました。もちろん逐次時間を記録していたわけではありませんが、私と手伝ってくれた各 FOF 職員の作業時間を延べにすれば、十分、そのくらいの時間は要したと思います。

【質問3】 実際に作成された資料は蔵内所長が1人で作成したのですか？可能であれば当時作成された資料を提供していただけないでしょうか？

【回答】

前問への回答のとおり、FOFの職員が協力して作成してくれた案に私が編集指示を出して作成したものです。

講演資料は、他の講演でも同様ですが、著作権・肖像権等の保護や無断転用等を防ぐ観点から、原則としてスライドでの投影のみで資料等の提供はしていません。

しかし、お見せすることはできますので、FOFに申し出てください。

【質問4】 ワンヘルス総合推進課が2023～25年に依頼した他のワンヘルス関連の講演でも、同様の算出方法で謝礼金額を決めており、ほとんどの方の講演料は5万円と一律でした。一方、別の課の職員は「講演と打ち合わせの時間は謝礼金の算出対象になるが、資料作成時間は対象とならない」「打ち合わせ時間は最大で1時間程度だ」と話しています。謝礼金の算出指標となる財政課の予算単価表でも、打ち合わせ時間は算定額に含むと明記していますが、資料作成時間への言及はありません。蔵内所長はワンヘルス総合推進課の謝礼金の算出方法、さらに金額について妥当だと思いますか？

【回答】

謝金の額は主催者である県が決められるものですから、私はコメントをする立場にはありませんし、質問1で答えましたように、私は金額には全く関心がありません。

なお、私の講演は、FOF職員との共同作業で行っているものですから、いただいた謝金は全て、私個人ではなく、FOFのワンヘルス広報活動資金として受け入れています。